

予算審議の改革で、もっと良い予算を ～議会・市民への編成過程情報の公開で変える～

予算について、さいたま市議会では予算委員会を作って集中審議をするという方法をとっています。数日間にわたって様々な角度からのチェックをしていますが、「よほど重大な問題がなければ通る」というのが実際です。「もっとこうした方がいい」という意見は多々出されますが、それらは結果的に、翌々年度（つまり丸一年以上先）の予算にしか生かされないというのが実情です。

今回高木は一般質問でこのことを取り上げ、より良い予算を作るには、その年の予算の編成過程から議会が意見を上げていくことが必要ではないかとの提案をしました。市長の当初予算編成方針、部局ごとの編成方針、当初予算要求状況、編成状況などを、その都度情報公開してもらい、それに基づいた勉強と審議を議会の予算委員会で行うのです。これにより、まさにタイムリーに議会の（ということは市民の）意見を反映させた予算を作ることができます。これは、実際三重県議会が既に実施しているのですが、さいたま市でもぜひ実現されるべきと高木は考えています。

誰がどの質問をしたのか わからない「市議会便り」

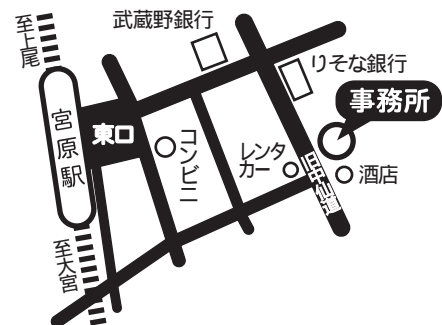
皆さんのお宅に各戸配布される「市議会便り」ですが、議会中になされた質問の掲載にあたって、誰がどの質問をしたのかわからない作りになっています。しかし、質問の内容自体は当然重要ですが、それをどの議員が行ったかという情報も、同じく市民にとっては重要な情報ではないでしょうか。

この問題は、毎年繰り返し議会広報委員会提起されるのですが、大会派の反対で実現していません。理由は「名前を出したい議員のパフォーマンスに使われるから」だそうですが、議会で議員が質問をするという基本自体が「パフォーマンス」であるという理屈は、何度聞いてもどう理解していいのかわかりません。寧ろパフォーマンスでもいいから、どんどん競っていい質問をすべきです。

事務所を移転しました。

7月より事務所を移転しました。
宮原駅から徒歩3分のわかりやすい場所にありますので、お気軽にお立ち寄りください。

平日午後（1：30～4：00）を中心に
ボランティアの皆さんが事務所を開けてくださっています。
高木は外の仕事のことも多いので、
事前にご連絡いただければ幸いです。



ボランティア募集

高木まりの活動はボランティアの皆さんによって支えられています。
このレポートのポスティングなど、お手伝いいただける方がいらっしゃいましたら、
事務所までご連絡ください。（TEL 048-654-2559）